



# 「野庭中学校・丸山台中学校」 通学区域と学校規模適正化等 検討部会 ニュース

発行日：平成 30 年 9 月 28 日  
発行元：検討部会 事務局  
(横浜市教育委員会事務局  
学校計画課)

## はじめに

現在、野庭中学校は、一般学級数が 6 学級の小規模校（各学年 2 学級）となっており、今後も小規模校の状態が継続していく見込みです。そのため、『野庭中学校・丸山台中学校』通学区域と学校規模適正化等検討部会」において、隣接する丸山台中学校との間で、野庭中学校の適正規模化に向けて具体的に検討しています。この部会での検討状況等について、本ニュースを発行し、両校の通学区域内にお住まいの皆さまや保護者の皆さまにお伝えします。

## 第 3 回検討部会

日時：平成 30 年 8 月 29 日（水）  
18 時 30 分から  
会場：野庭中学校 C 棟 1 階 図書室



## 第 3 回部会での決定事項など

- 保護者説明会での意見等を踏まえ、追加検討案を提示し、両校の方向性について協議しました。その結果、学校規模適正化の方策として、追加検討案 5-3（以下の 5 点）を部会の意見とすることを決定しました。
  1. 平成 32 年（2020 年）4 月に、野庭中学校を閉校し、丸山台中学校と統合する。  
統合校の丸山台中学校は、両校の歴史を引き継いで、新しい統合校の歴史を築いていくこと。
  2. 両校の生徒には、統合の前後に、今までの経緯と両校の生徒が統合校をスタートさせることを校長から責任をもってしっかりと伝えて、動機付けを行っていくこと。
  3. 統合校の名称は丸山台中学校とすること。
  4. 統合校の敷地及び使用校舎は、丸山台中学校とすること。
  5. 統合校の通学区域を野庭中学校と丸山台中学校の通学区域を合わせた区域を基本とし、一部の区域に日野南中学校を受入校とする特別調整通学区域を設定すること。
- 第 4 回部会では、これまでの検討結果を意見書にまとめることとなりました。

- 1 保護者説明会について . . . . . P 2～3
- 2 野庭中学校の学校規模適正化に向けた検討について . . . . . P 3～7
- 3 統合校の通学区域について . . . . . P 8

## お問い合わせ先（事務局）

皆さまからの御意見や御質問を受け付けております。Eメール又はFAXでお寄せください。

「野庭中学校・丸山台中学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会 事務局(横浜市教育委員会事務局 学校計画課)

Eメール: ky-kounan2018@city.yokohama.jp      FAX: 045-651-1417      電話: 045-671-3252



## 1 保護者説明会について

第3回検討部会の前に、関係小学校（下野庭小学校、野庭すずかけ小学校、丸山台小学校）、野庭中学校及び丸山台中学校の保護者の皆さまに、両校の現状と、部会での検討状況等をご説明し、広くご意見をいただくため、保護者説明会を開催しました。

### (1) 開催日時・会場（どの会も説明内容は同じです。）

日時：平成30年8月1日（水）  
19:00～20:00

会場：野庭すずかけ小学校 体育館

参加者：約30人

日時：平成30年8月2日（木）  
14:30～15:30

会場：丸山台小学校 3階 音楽室

参加者：約30人

日時：平成30年8月2日（木）  
19:00～20:00

会場：下野庭小学校 4階 音楽室B

参加者：約50人

### (2) 寄せられた意見・要望の報告（事務局からの報告）

保護者説明会での質疑のほか、部会に寄せられたご意見・ご要望について、第3回部会で報告しました。

- ・第3回部会以降のスケジュールを教えてください。最終的にいつ、誰が決定するのか。
- ・野庭中学校と丸山台中学校で検討することになったのは、単に場所が近いからか。
- ・検討案4は、必ず両校閉校して新しい学校を作らなければならないのか。どちらかの学校を残す形も検討されているのか。
- ・学校統合に賛成。学校統合することによって、部活動が生き返ると思う。
- ・野庭中学校と丸山台中学校の合併はせず、小規模に特化した学校づくりをしてほしい。
- ・学校統合するのであれば、現1年生が卒業する3年後以降にしてほしい。

### (3) 寄せられた意見・要望の報告（各委員からの報告）

各委員に寄せられたご意見・ご要望などについて、第3回部会でご報告いただきました。

（凡例 ☆：各委員からの主な発言）

☆ 説明会に参加された方に、PTAからアンケートを取りました。検討案1～4の中で1番近いお考えを選択式で聞いたところ、圧倒的に検討案4となりましたが、その理由についてはバラバラで、無回答は38%でした。約4割の方が検討案1～4のどれとも思っていないということは、共感が得られていない可能性が高く、ここはしっかりと丁寧に進めていかないと、不満がすぐ募ってしまうのではないかと感じました。

☆ PTAから、説明会に参加された方にアンケートを取りました。少なければ少ないなりに、例えばきめ細かい指導が受けられることや、先生や生徒同士のつながりが深まるなどのメリットがあること。一方で、学校統合して大人数になれば、学校行事や部活動において活気が出るなどのメリットがあり、回答の中ではこれが1番大きな率を占めました。

☆ ご意見としては「全員の意見が揃うということはないので、どこかで何かしらの我慢は必要なのかと思う。少ないなりの良さもあるが、少ないなりのマイナス面もあるかと思う」「今までのネットワークを大切に、子どもたちのことを守っていきたい」「適正な人数のほうが地域的にも、子どもの成長の過程においても良い気がする」「保護者同士、当事者同士で話し合える場があると有難い。どんな学校が望ましいか意見を出したい」などがありました。

☆ P T Aから、説明会に参加された方にアンケートを実施しました。「私たちの意見が部会に届いていないのではないか」や、「子どもの進路や受験にも関わるので、結論を早く出してほしい」「地域の声を部会でどう検討したかをきちんと報告してほしい」「2校が統合した場合、新しい学校になる可能性があることを初めて知った」「通学圏が3キロでは、子どもたちの通学が大変になるのではないか」など、皆さん一様に「不安」ということを述べられる方がとても多かったです。

☆ P T Aから説明会前にアンケートを取りました。小規模校の中で活動している子どもたちを間近で見ているので、小さいままでも不安、大きくなるのも不安という両方の意見がちょうど拮抗しているように感じました。

※紙面の都合上、いただいたご意見・ご要望のうち一部のみ記載しています。

## 2 野庭中学校の学校規模適正化に向けた検討について

これまで事務局から提示した4つの検討案（通学区域変更案（検討案1～3）と学校統合案）のうち、通学区域変更案については、実施しても適正規模化が図れないことから、部会の意見としないことを確認しました。続いて、保護者説明会で寄せられたご意見を踏まえて、事務局から追加検討案を提示し、協議を行いました。

### 検討案4（学校統合案）

野庭中学校と丸山台中学校を統合（野庭中学校と丸山台中学校を閉校し、新たに一つの学校を開校）し、現在の野庭中学校と丸山台中学校の通学区域を合わせた区域とした場合。（図1参照。）

#### ◎ 一般学級数・生徒数の推移（推計値）

※平成32年度統合と仮定。

学校名		実数		推計			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35
(統合校)	生徒数	—	—	571	572	545	534
	学級数	—	—	16	16	15	15

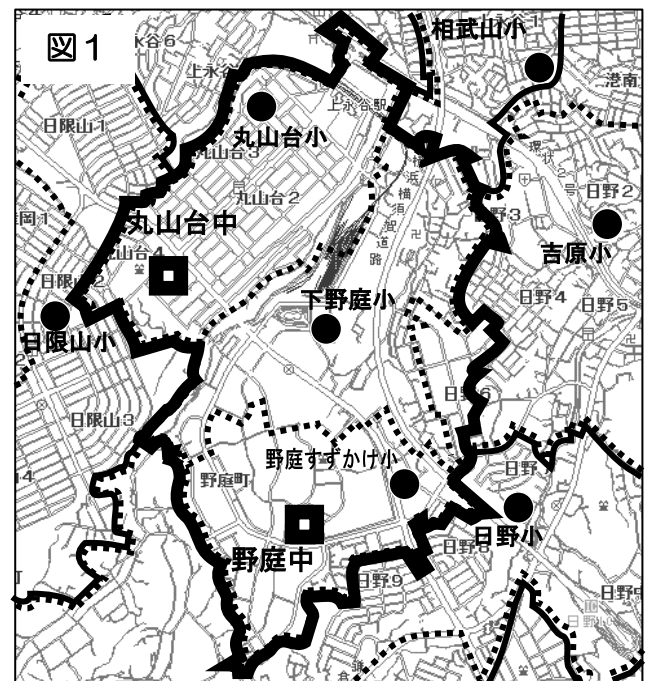
#### 【保有普通教室数】

野庭中学校 24 教室、丸山台中学校 24 教室

#### ◎ 検討案4の課題

- 野庭中学校と丸山台中学校を統合すると、学校規模は適正規模になるが、通学距離が長くなる地域がある。  
(ただし、望ましい通学距離とされている片道3km以内。)

#### ◎ 通学区域図



凡例 ● 小学校      ..... 小学校の通学区域  
 ■ 中学校      ——— 中学校の通学区域

## 追加検討案5-1

### ◎ 考え方

野庭中学校を閉校し、現野庭中学校の通学区域内の生徒が丸山台中学校に転・入学した場合。

### ◎ 通学区域案の範囲

現野庭中学校の通学区域の全域を、丸山台中学校の通学区域に変更した場合。(図1参照。)

※現在設定されている他の中学校との特別調整通学区域は解除しない。

### ◎ 案のとおりとした場合の義務教育人口推計(一般学級のみ)

平成32年度に野庭中学校を閉校し、現野庭中学校の通学区域内の生徒が丸山台中学校に転・入学した場合は、検討案4の「一般学級数・生徒数の推移(推計値)」に同じ。

### ◎ 追加検討案5-1の課題

- ・野庭中学校の生徒や保護者の心情に配慮が必要となり、生徒への支援策を手厚く行う必要がある。
- ・閉校する野庭中学校の通学区域の地域と継続する丸山台中学校との関係が、極めて希薄となる。
- ・学校規模は適正規模になるが、通学距離が長くなる地域がある。(ただし、望ましい通学距離とされている片道3km以内。)

## 追加検討案5-2

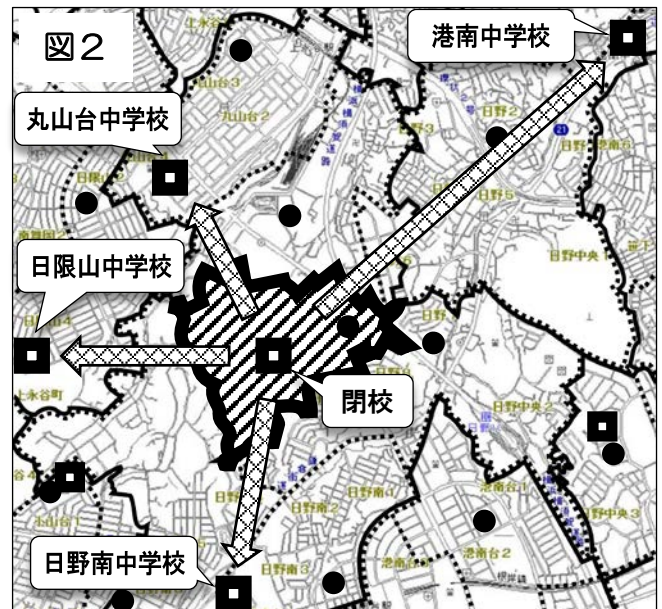
### ◎ 考え方

野庭中学校を閉校し、現野庭中学校の通学区域内の生徒を周辺中学校のいずれかを選択できるようにした場合。(図2参照。)

### ◎ 追加検討案5-2の課題

- ・現野庭中学校の通学区域内の生徒が、周辺の中学校に分散した場合、各校への転・入学者数は、極めて少なくなり、生徒の精神的な負担は極めて大きくなる。また、生徒への支援策を「検討案5-1」よりも、手厚く行う必要がある。
- ・本市においては、「規則」に基づき、就学する者の住所により就学すべき学校を指定することとなり、「検討案5-2」は、規則の趣旨に反するとともに、毎年、中学校を選択する児童・保護者の負担は大きなものとなる。  
また、閉校する野庭中学校の通学区域は、横浜市全体の通学区域制度の空白エリアとなり、現制度の欠陥となる可能性がある。
- ・閉校する野庭中学校の通学区域内の地域コミュニティは、学校との繋がりが完全に分断されることが想定される。
- ・現在、横浜市が進めている義務教育9年間の連続性のある教育である「横浜型小中一貫教育」を効果的に行うことが実質困難となる。

### ◎ 通学区域図



凡例 ● 小学校      ..... 小学校の通学区域  
■ 中学校      — 中学校の通学区域

## ◆ 学校規模適正化に向けた検討案に関する協議内容

(凡例 ☆：各委員からの主な発言 ⇒：事務局からの説明)

☆ 野庭中学校1年生は34名です。来年度は1・2年生を合わせても80人いないかもしれません。子どもたちには、部活動が限られたりクラス替えができなかったり、かなりのデメリットが生じます。

野庭中学校と丸山台中学校は一つになるしか方法はないと、結論は出ていると思います。丸山台中学校の名前のままで、場所も丸山台中学校の校舎でもいいと思っています。それよりも、やはり子どもたちが少なくなってしまう現状を解決してあげたいです。

野庭の子どもたちが丸山台中学校に行くことについて、「一緒にやっっていくんだ」というスタイルを丸山台の方に見せてもらえれば、それが、野庭の子どもたちが胸を張って丸山台中学校で頑張るための地ならしになると思います。区切りとなる3月に、一つのけじめをきちんとやっていただき、4月の始業式の前に、新しい学校を作っていくという式典をやっていただきたいです。

☆ 新しくスタートするにあたって、課題解決や不安解消に、丁寧に取り組む必要があると思います。また、生徒たちには、校長からの話、あるいは日々の教職員からの生活指導を通じて、両校の生徒の立場は一緒だと繰り返し伝えていくことは、学校として当たり前だと思います。

☆ 校名が丸山台中学校のままでは、新しい学校を作るという意図に反しているのではないかと思います。「閉校」という言葉は使わなくてもいいですが、せめて「新丸山台中学校」とか「野庭丸山台中学校」とか、何か今までの丸山台中学校とは違うという様子を、名前として残していただきたいです。

☆ 少子化という事実は、誰が悪いというわけではないと思います。子どもたちにとって、こんな生きた教材は他に得られないのではないかと思います。

☆ これは突然降ってわいたような話でした。それぞれの実情や当事者の意見を事前にリサーチすることなく、過去の経験のみで検討を進めていくことに無理があると思います。野庭中学校に行くはずの野庭すずかけ小学校のお子さんが、丸山台中学校に行く事実もあります。そういったことも考えてあげないといけないと思います。検討案5-2は、そういった方への配慮だと思います。丸山台という名称は使っていただきたいですし、丸山台中学校を閉校するという言葉は受け入れることができません。

☆ 検討案5-1を支持します。2校が1つになることはもう皆さん分かっていたことと思います。そのあり方を検討していくことに、これから時間を使っていただきたいと思います。丸山台中学校も、野庭の地域がすでに関わっています。ぜひその辺は安心して、同じ地域で学んでいただければと思います。

☆ 大変悩みましたが、子どもたちが未来を作るのですから、名前も変えて、新しい学校を作っていくという検討案4に賛成します。

- ☆ 小学校が子どもたちをどう中学校に送り出すかが非常に重要に思います。どういう気持ちでそこに行くのか、送り出す小学校の段階できちっと動機付けができれば、丸山台中学校という名前でも新しいスタートはできると思います。子どもたちは、大人よりも新しい価値観に対してすごく寛容性があると思います。
- ☆ 丸山台中学校というベースがあったほうが、1つになった後に物事が上手く運ぶ気がします。お互いの良いところをベースにしてどんどん追加していければ、すごく早く良いものができあがるのではないかと思います。
- ☆ 丸山台はきちっとやってくれます。野庭の子どもたちには本当に申し訳ないのですが、吸収でも何でもない。肩身が狭いってこともない。胸を張って行けるように野庭側は送り出しますので、ぜひ丸山台と一緒に学校づくりをさせてほしいと思います。丸山台は「いらっしやい」ではなく、「一緒にやっぺいこう」という形で、ぜひやっていただければと思います。3月に両校で、4月に統合校で、校長から子どもたちへ、しっかりとこれらのことを伝えましょう。
- ☆ 丸山台中学校の名前を残すなら、野庭すずかけ小学校の子どもたちには、追加検討案5-2のように周辺の中学校から、進学する中学校を選択できるようにしてほしいと思っていました。選んで丸山台中学校に行くのと、決められて行くのでは全然違います。ただし、保護者に負担をかけますので、皆さんの総意に預けたいと思います。
- ☆ 教職員は丸山台中学校ブロック（丸山台中学校・丸山台小学校・下野庭小学校）の3校合同で様々なことを行っているのですが、ぜひ野庭すずかけ小学校も含めて、結束を強めていきたいと思っています。
- ☆ 地域活動の中で、野庭すずかけ小学校と下野庭小学校の子どもがいて、その子たちは「俺ら、今度一緒に学校通うんだね」みたいな感じで、すごく前向きに捉えています。そんなに心配しなくて大丈夫だと思います。学校の先生方が絶対にしっかりとやってくださると思います。
- ☆ 今年、両校の野球部と一緒に練習した経験が、子どもにとってもいい刺激になったようです。子どもの様子を見てみると、学校にこだわるとかではなく、「一緒に活動しよう」となったときに、きちんと対応できる柔軟性がすごいと思いました。野庭中学校には、残って欲しいという気持ちはありますが、皆さんのお話を聞いて、ちゃんと未来に向かって、子どもも大人も進んでいけるかなという気はしています。
- ☆ 中学1年生の保護者の方にお会いしたとき、お子さんが「2年後なら、新しい学校の俺たち1期生だよ」とすごく喜んでいて聞きました。私も野庭中学校には思い入れが沢山あります。でも、譲るべきところとか、新しい名前でもなくても、新しい丸山台中学校を作ってもらう形で、ぜひ考えていただきたいです。
- ☆ 私の地域からは、子どもたちは4つの小学校に通っていて、学校関係なくお付き合いしています。子どもたちのことを考えたら、学校はどこかに決めたほうがいい。みんなが一緒に行くのなら、不安はないと思います。

- ☆ 保護者を代表している委員には負担がかかってしまうことが心配です。ここで決定するというのであれば、所属に帰ったときに、校長と保護者代表が一致団結して、保護者の皆さんに説明していただければと思います。
- ☆ PTAのほうでも、しっかりと平等にやっていきたいと思います。校長先生、保護者の皆さま、皆で32年度に一緒になるということを前提で動いていきたいと思います。
- ☆ 統合は平成32年度がいいと思います。野庭中学校1年生が、3年生になったとき、1回大きな輪の中で学校生活を送ることができます。その機会を持たせてもらえるとありがたいです。
- ☆ 野庭中学校の後利用については、地域防災拠点も含めて、まちの活性化に貢献する施設にいただければと思います。
- ☆ 何年後か分かりませんが、跡地はぜひ地域の方々のために活用してもらいたいと思います。



協議を重ねる中で、事務局から「追加検討案5-3」をご提案しました。

#### 追加検討案5-3

- ・平成32年(2020年)4月に、野庭中学校を閉校し、丸山台中学校と統合する。
- ・丸山台中学校は、野庭中学校と丸山台中学校の両校の歴史を引き継いで、平成32年(2020年)4月1日から、統合校としての新しい丸山台中学校の歴史を築いていく。
- ・統合校の校名は、丸山台中学校とする。
- ・統合校の敷地及び使用校舎は、丸山台中学校とする。
- ・野庭中学校の生徒と丸山台中学校の生徒は、一緒に統合校を築いていく。
- ・学校統合するにあたっては、平成31年度(2019年度)末に、両校において、今までの経緯や平成32年度(2020年度)から両校の生徒が統合校をスタートさせることなどを、生徒が正しく理解できるように、校長から責任をもってしっかりと伝えて、動機付けを行っていく。
- ・平成32年度(2020年度)当初に、統合校において、全生徒が力を合わせて統合校を築いていくことを、生徒が正しく理解できるように、校長から責任をもってしっかりと伝えて、動機付けを行っていく。



学校規模適正化に向けて、追加検討案5-3の方針を部会の意見とすることを決定しました。



### 3 統合校の通学区域について

統合校の通学区域は、野庭中学校と丸山台中学校の通学区域を合わせた区域を基本とします。

統合校の通学区域が広がり、通学距離が長くなる地域があることから、一部の地域について、隣接する学校を希望により選択できる特別調整通学区域を設定することについて、事務局から提案しました。

#### 【通学区域設定にあたっての考え方】

「学校規模」、「通学時間・通学距離」、「通学安全」、「地域コミュニティとの関係」、「小学校・中学校の通学区域」を総合的に配慮して設定する。(横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針より)

#### 特別調整通学区域設定案

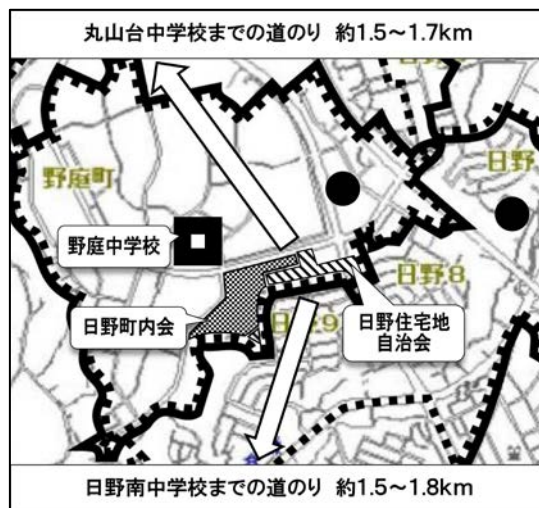
現在の野庭中学校の通学区域のうち、日野住宅地自治会と日野町内会について、希望により日野南中学校も選択できる特別調整通学区域を設定する場合。

#### ◎ 一般学級数・生徒数の推移(シミュレーション)

平成32年度の新1年生から、半数(50%)が統合校の丸山台中学校を選択した場合。

学校名		H30	H31	H32	H33	H34	H35
丸山台中学校	生徒数	—	—	568	566	534	523
	学級数	—	—	16	16	15	15

日野住宅地自治会は、同じ自治会の中で、指定校が野庭中学校と日野南中学校に分かれているため、地域での活動に支障があることから、子どもたちが同じ学校に通うことができるようにしてほしいというご要望が寄せられています。また、統合により通学距離が長くなるため、隣接する日野町内会も含めて、事務局から提案しました。



#### ◆ 統合校の通学区域に関する協議内容

(凡例 ☆: 各委員からの主な発言 ⇒: 事務局からの説明)

- ☆ 地域としても、特別調整通学区域にしてほしいので、ぜひ認めていただければと思います。
- ☆ 学校統合してから、日野南中学校と丸山台中学校を選べるようになるという話ですね。心配なのは、このことで野庭すずかけ小学校の児童数が減ることはないのでしょうか。小学校もセットで考えていかないといけないと思います。
- ⇒ 小学校と中学校の通学区域を合わせることは必要だと思います。小学校の通学区域については、この部会での中学校の通学区域の検討結果を踏まえて、別途、教育委員会事務局で検討いたします。
- ☆ そうであれば問題ないと思います。

案のとおり、現在の野庭中学校の通学区域のうち、日野住宅地自治会と日野町内会の範囲については、平成32年度から、統合校の丸山台中学校と日野南中学校を希望により選択できる特別調整通学区域を設定することを、部会の意見とすることを決定しました。

#### 次回の部会について(第4回部会)

日時: 平成30年10月17日(水) 18時30分から  
会場: 野庭中学校 C棟1階 図書室  
検討内容: 意見書の確定

#### 会議の傍聴について

会議は非公開とすることを決定しました。



#### これまでの検討経過など

検討部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからも御覧になれます。  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/shoukibo-ky-kounan2018.html>

